

各章脱稿 第二次原稿から完成原稿までの執筆は、中学校篇を大沢・竹村・奥村の三氏、昨年九月から柳川氏も加わって、分担により鋭意作業を進めてきた。本年はじめ竹村主任四十日間の病気入院という障害もあつたが、健康恢復後はそのおくれを取り戻すべく、精力的に仕事を進めている。

昭和55年度
定期総会

- 記念講演 なし
ハ、その他
口、昭和五十五年度予算案



市 村

昨年九月の評議委員会で八十周年記念事業について実行委員会が組織され、私がその委員長ということになりました。恐らく私が委員最年輩であるので推薦されたと思うのであります。

この委員会は専ら野外ブ

ロンズ像建立を目的とする
ものであります。

式典であるように、私はこの裏方のつもりで万遺憾を引きを期したいと思います。ここに、同窓生諸君、ならびに関係各位の御協力を一切にお願いしまして、私の挨拶とします。

各章脱稿 第二次原稿から完成原稿までの執筆は、中学校篇を大沢・竹村・奥村の三氏、昨年九月から柳川氏も加わって、分担により鋭意作業を進めてきた。本年はじめ竹村主任四十日間の病気入院という障害もあつたが、健康恢復後はそのおくれを取り戻すべく、精力的に仕事を進めている。

一昨年二月から執筆の始
まつた校史は、昨年九月か
ら各章逐次脱稿して印刷所
にまわり、その校正と本文
の一部及び年表、資料など
愈々仕上げの段階に大童で
ある。

飯田高校同窓会報 校史の上梓まじか

十月には出版の運びに

昭和55年度定期総会		○期日	八月十七日(日)
○会場		午後二時	飯田高校同窓会館
○議題		イ、昭和五十四年度決算報告 ロ、昭和五十五年度予算案 ハ、その他	
○記念講演	なし	著作権問題に対する措置	春雄先生に揮毫をお願いした。先生は中学第八回明治四十二年の御卒業で、母校に長く教鞭を執られた大先生である。
		も完了した。本年度校史閲覧	輩であることは周知のことである。
			長肖像画、長姫高松両校舎の完成を完了する。
			それをまとめた。一、二の各章で予定よりやや遅れたが、六月中には全章印刷所送り
			その他の口絵写真の選択にも慎重な配慮を行なつてき
			た。

支那と世界の文化

市村保人

運営委員長挨拶

昨年九月の評議委員会で、八十周年記念事業について実行委員会が組織され、私がその委員長ということになりました。恐らく私が委員長であるので推薦されたと思うのであります。

この委員会は専ら野外ブ

予約三千部 予約申込みは頻繁に到来し、その処理に羽生事務局長は忙殺されて

予約三千部 寄贈分を含めて三、〇二三部、送料を含めた四千円の予約価で採算が合うかどうか心配されていたが、この部数が出たことで見通しも明かるくなり、関係者一同

母校独立八十周年

十一月二一日

◇…… 昨年秋同窓会報第十八号にて御連絡を致

◇…… 惡々母校独立八十周年の記念すべき年がわ

◇…… その記念式典の期日が、十一月二日（日）

◇…… いますので、会員の皆々様に御通知申し上

ばという、北原委員長、大沢・林両委員の執念にも似た情熱が、出来上った校史を手にされたとき感ぜられることであろう。

安堵している。各方面の御協力を謝す次第である。なお、予約外は定価五千円となる。(六月二十日)

＊＊＊

記念式典

(日)に決定

既に式典計画については学校を中心として綿密に検討されて出来上つていて、予算三五〇万円、ブロンズ像関係に七五〇万円計一、一〇〇万円は篤志寄付は莫らず、同窓会より支出されることになつています。從つて会員諸君の心籠れる予算であることを思うとき、運営について一層の責任を感じるのであります。

八十周年記念に相応しい式典であるように、私はその裏方のつもりで万遺憾無きを期したいと思います。

ここに、同窓生諸君、なればに関係各位の御協力大切にお願いしまして、私の準備運営について、さきの挨拶とします。

×××

第19号

発行人
長野県飯田高等学校同窓会長
松下逸雄
編集発行人
吉澤敏武
印刷所
飯田共同印刷(株)



ご挨拶

教頭外山義里

築いてこられた飯田高校の
伝統を更に発展させるたま
精一杯努力をつみ重ねて、
く覚悟です。

生徒諸君が飯田高校の八年の歴史の中に生き、永遠につづく未来の中に存在していることを自覚して、當

樂にクラブ活動に励んでいくことを願っています。

卒業生の進路情況

*** 昭和54年度の大学合格者数は、公立大学を除き、 ***
 *** 前年度の実績をやや下回り残念であった。特筆すべ ***
 *** きは最難関といわれる国立大学医学部へ、16名が合 ***
 *** 格したことである。

国 立 大 学	北東茨城群千東京外茶沢梨医	北城波馬葉	大大大大大大大大計	2(2) 4(2) 2 3(2) 2 2(1) 3(1) 3(2) 2 5(2) 6(3) 2(2) 43(10) 2(2) 6(3) 3(1) 4(3) 117(46)	私 立	青山学院大 慶学院大 駒芝浦和修 昭中海 東京経済大 東京電気大 東京農大 東京理科大 東洋日法 明大明治学院 早大神奈川大 日本福祉大 名城大 同志社大 立館大 私立計	11(6) 12(4) 11(6) 11(9) 7(4) 9(8) 10(7) 22(11) 7(3) 9(7) 6(4) 12(4) 19(10) 6(3) 33(18) 11(7) 21(17) 6(3) 33(25) 8(4) 7(3) 7(5) 7(6) 13(8) 425(255)
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立
	立	立	立	立		立	立

()内は卒業生を示す。

昨年度は講師の鶴崎（国語）・松沢（数学）・市瀬（英語）の三先生のご熱心な指導のもとに、在籍者二十七名中二十名が合格の栄冠を獲得することができました。なお本年度も昨年に引き継いで三名の先生に講師をお願いし、去る五月八日に開講式を行いました。今年の受講生は三十二名で、火・木・土の三日間、同窓会館二階の教室で真剣な授業が展開されています。君の奮闘をお祈りします。

浪人学級

飯伊六高校野球リーグ戦に三季連続優勝。春季リーグでは六年連続優勝と飯伊に敵なしの野球部である。北信越南信大会では、伊那北・飯田長姫・諏訪清陵子園出場の東海大三高と大敗。エース菅沼が好投し、注目をあびた。三〇名の部

戦力充実野球部



（顧問 大野田文吉）

員は一丸となって甲子園めざして猛練習に耐えグランドは活気に満ちている。七月一日、東海大三・中津商（岐阜県優勝校）を本校にむかえ練習試合を行ないます。今後とも一層の御支援をお願い致します。

学校位置標石寄贈

— 中36期生より —



業生（館（昭和五十四年三月解体）の土台石を使用し、標石にはアフリカ産の黒御影石を用いています。

設置に当り特に留意した点は、裏面台座に銅板をはじめ込み、原点を表示して、正確を期したことである。

建設場所は中央玄関前の老松の下を選び、東を向けて標石を固定させている。

昭和五十五年四月十五日

母校の八十周年独立記念日

て、学校の位置を示す標石を贈呈することにした。

検討の結果、台座の上に経緯度と海拔高度を明示し

た標石を安置したものを、

学校敷地内の一隅に設置す

ることを決定した。

一段の台座芝台には旧卒

（三六回 事務局）

春季南信大会成績

《サッカー》	… 1位	2位
《ラグビー》	… 2位	3位
《庭球》	… 国体	位
《卓球》	… 1位	位
男子団体	… 1位	位
男子個人	… 1位	位
女子団体	… 3位	位
女子個人	… 3位	位
女子個人	… 2位	位
《剣道》	… 1位	位
男子団体	… 1位	位
男子個人	… 1位	位
女子個人	… 1位	位
《体操》	種目別	位
《陸上》	上級	位
男子	3000 w	1位
ハーフ	一投	走幅跳…
ハーフ	1位、	3位
（女子）	（女子）砲丸投	

高体連だより

薰風かおる五月十七・八の両日、高体連春季南信大会が開催されました。本年度の運動クラブの活躍は目覚ましく、各種目とも昨年を凌駕する好成績を残し、県大会への出場権を獲得することができます。一層の精進と今後の健闘を期待します。

現在卓球班は三十八名、

（うち女子十五名）の大所

帯で活動しています。

昨秋の県新人戦で男子優勝、女子三位になって以来

本年の全国大会に照準を合わせ、懸命に練習に励んできました。

六月のインター杯県大会で男子団体優勝、女子団体

で男子団体優勝、女子団体

勝、女子三位になって以来

本年の全国大会に照準を合

わせて、懸命に練習に励ん

できました。

六月のインター杯県大会で男子団体優勝、女子団体

勝、女子三位になって以来

本年の全国大会に照準を合

わせて、懸命に練習に励ん

できました。

六月のインター杯県大会で男子団体優勝、女子団体

勝、女子三位になって以来

本年の全国大会に照準を合

わせて、懸命に練習に励ん

できました。

準優勝、男子個人（串原一保）一位という立派な成績を収めることができました。

新人戦での好成績が精神的重圧となり、追われる者の苦しみを味わいました。

しかし、その圧力に押し潰されることはなく、よくぞ頑張ったと思います。生徒にとってこの貴重な体験は、必ず今後の人生の礎になります。

また、八月には高知においてインター杯全国大会が行なわれますが、技術・精神面での一層の強化をはかり、県代表に恥じない成績を残したいと思います。

ご支援下さった先輩諸氏に心からお礼申し上げます。

（顧問 大野田文吉）

全国大会出場権獲得 十八年ぶりの快挙『卓球部』

